

若越の林業



2016 **10** No. 702

福井しあわせ元気国体・大会の花⑨



ヒガンバナ

秋の彼岸頃に華やかな赤い花を咲かせる球根性の多年生植物です。畦畔などに群生して咲く姿は迫力があります。現在は品種改良が進み、白色や黄色の花もあります。

コスモス

本来は日が短くなると開花する短日植物なので、「秋桜」の和名がありますが、現在は日の長さに関係なく花を咲かせる早咲きが主流になっています。一重のほかに八重咲きや筒咲きなど、花形も多彩にあります。



福井しあわせ元気国体 2018
福井しあわせ元気大会 2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう カと技と美しさ



丹生地区での取り組み

自然を感じよう！ 乙坂山で登山を体験



越前町織田地区の子供たちが通う織田児童クラブでは、毎年様々な体験会を実施しています。今年には5月に旧朝日町乙坂山への山登り、8月にダンボール窯でのきのこピザづくりを行いました。山登りは天気にも恵まれ、子供たちは途中クイズなどを楽しみながら、全員揃ってゴール（登頂）！休憩ポイントでは、冷たい湧き水で元気をチャージし、泰澄塾の方から山や自然の話聞き知識を深めました。

● この記事に関するお問い合わせ ●

福井県丹南農林総合事務所 林業部 丹生林業・木材活用課 までどうぞ！

TEL：0778-34-1790

FAX：0778-34-2718

緑推だより



「森の名手・名人」に認定されました

公益社団法人国土緑化推進機構が認定する、平成28年度の「森の名手・名人」に、県内から1名の方が認定されました。これまでの認定された方々とともに、今後の活躍が期待されます。（平成14年度～27年度で19名の方々が認定されています。）

森の名手・名人とは、森や山に関わる生業等に従事する経験年数が長く、また極めて優れ、かつ特色ある技能を有し、身の処し方、地域社会との関わり方を通じて、同業者及び地域社会において模範とされている方。

★認定された方★



森づくり部門（造林手）

おおたけくち
大竹口 茂 氏

勝山市木根橋

氏は、十代半ばから、70年近く森林の整備に携わり、その間、自家所有林の整備をはじめ、地区の生産森林組合の立ち上げに関わり、その後の整備も担ってこられました。

当地域は、豪雪地帯であるため、特に雪害を受けにくい施策について、地域の先輩や先進地の林家から学んだことをもとに試行錯誤し、植栽する苗や施業方法に気を配りながら、施業を続けることに、自身で施業用の道具を作製するほどの研究熱心さで、知識と技術を取得しています。

また、責任感が強く穏やかな性格で、地域の森林所有者の信頼も厚く、昭和55年には、県の指導林業士に認定され、後継者の育成にも積極的に取り組み、地域の森林整備の推進に尽力してきました。さらに、現在、森林の整備については、所有林のみに専念していますが、林業女子会の講師として、一般の女性を対象に山の話をするなど、活躍を続けていることから、今年の森の名手・名人として認定されました。



管内だより

「丹生山の市場」始動

福井県では、今年4月より木質バイオマス発電施設が稼動し、燃料材の安定的な供給を目指して森林組合や林業事業体による材の搬出が行われています。その跡地で未利用材の搬出を行う「林研グループの内部組織「木質バイオマス協議会」の活動については以前ご紹介したところですが、この度県が各地に整備を進める「山の市場」に取り組みこととなり、平成28年8月、より大きな組織として新たなスタートを切りました。

「丹生山の市場」は林研グループ（バイオマス協議会）、森林組合、バイオマス用材の受入業者、市町が



▲バイオマス協議会活動風景



▲第1回協議委員会の様子

メンバーとなり、材の搬出から持ち込み、精算までの仕組みを確立して、多くの林家が参加しやすい組織づくりを目指しました。また、補助金等を活用した搬出機械の整備やPR資材の作成も進めており、今後ますます活動の幅が広がっていくよう前向きな検討を重ねています。秋には各機関の協力の元、イベントの開催も予定しています。丹生山の市場は今、初めの一歩を踏み出したばかりですが、地元の人を元気にしたいという同じ思いを胸に、この先も長く地域に根付く組織となることを願うとともに、林業の活性化につながる活動が続くよう期待しています。

(丹南農林総合事務所

丹生林業・木材活用課)

県森連だより

森林組合理事監事研修会を開催！

去る9月26～27日、平成28年度 森林組合理事監事研修会をホテルフジタにて開催しました。この研修は、組合の業務執行を決定、監督する立場の理事監事の方々に、現在の森林組合を取り巻く情勢等について見識を深めていただくことを目的として県森連が開催しました。

参加者からは積極的な質問や意見も飛び交いました。
2日目は、北川法律事務所 光照弁護士より、役員の法的責任について、アズワンコンサルティング 小玉特定社会保険労務士より、雇用管理についての講義があり、充実した研修となりました。

1日目は、本会の坂東代表理事専務 および県産材活用課 竹内専事より、それぞれ福井県における森林組合の現状と課題、林業施策について、農林中央金庫富山支店 本間部長より、近年重要視されているコンプライアンスと情報管理体制について、全国森林組合連合会 富山参事より、森林組合を取り巻く全国的な諸問題について研修がありました。また、今回は林野庁より森林整備課造林間伐対策室 関口室長にお越しいただき、来年度当初予算要求の概要をはじめ、伐採から造林まで一貫した作業システムの構築や20年程度で伐期を迎える早生広葉樹の発掘など、次世代を見据えた先進的取組についても紹介いただき、



▲県内10森林組合から61名の参加がありました。



木づかい紹介コーナー

県産材コーディネーター研修会について

県では、林業や木材流通加工、県産木材の特性や利用意義など幅広い知識をもち、施主に対して県産木材を利用した住宅等の相談や提案ができる「県産材住宅コーディネーター」を認定（有効期間3年 ※以降更新必要）し、現在 170 名が活躍しています。

本年度は、木造住宅の快適性や県産材をふんだんに使った住宅の構造見学会など、全4回の講座を開催します。

第1回目の講座は、「地域材を活用した家づくりのススメ」というテーマで、一級建築士事務所木住研 宮越喜彦氏に伝統工法を活かした家づくりの工夫などについてご講義いただきました。講座には、約20名の設計士等が参加し、「設計の際のデータベースの活用についてよく分かった」などの声が多く聞かれました。

今年度の研修は、下記の日程で行っています。

第1回	日時：平成28年9月7日（水）13:30～16:00 場所：中小企業産業大学校1階第一中教室（福井市下六条町16-15） 内容：福井県の森林・林業・木材産業の現状と課題 講師：県産材活用課職員 地域材を活かした家づくりのすすめ 講師：一級建築士事務所木住研 宮越 喜彦 氏
第2回	日時：平成28年9月27日（火）13:30～15:00 場所：中小企業産業大学校2階第二中教室（福井市下六条町16-15） 内容：木造住宅の快適性について 講師：国立研究開発法人 森林総合研究所 主任研究員 恒次 祐子 氏
第3回	日時：平成28年10月18日（火）13:00～16:30 場所：越前町および越前市内 内容：住宅の構造見学会等 講師：福井県木材組合連合会
第4回	日時：平成28年11月15日（火）13:30～16:00 場所：中小企業産業大学校 2階第二中教室（福井市下六条町16-15） 内容：なかなか聞けない木材・木質構造について 講師：木構造振興（株）原田 浩司 氏 越前瓦の特性について 講師：福井県瓦業工業協同組合 藤原 綱蔵 氏

（公社）ふくい農林水産支援センター研修だより

（公社）ふくい農林水産支援センターでは、林業における基礎から高度な専門的技術・知識の研修を行っています。ぜひご参加ください。

研修のご案内

研 修	日 時	研修場所	講 師
広葉樹を活用した健全な森づくり	10月18日（火） 13:30～15:30	総合グリーンセンター みどりの相談所	地域環境戦略研究機関国際生態学センター 矢ヶ崎 朋樹
野生きのこの観察講座 【受講料500円/人】	10月28日（金） 13:30～15:30	ふくい農業 ビジネスセンター	きのこアドバイザー 笠原 英夫

【お問合せ・申込み】

公益社団法人 ふくい農林水産支援センター 研修支援課
TEL (0776) 97-9227 FAX (0776) 52-2142
〒918-8215 福井市寮町辺操 52-21
(福井県農業試験場 隣)



公益社団法人

ふくい農林水産支援センター
Fukui Agriculture, Forestry and Fisheries Support Center

